

☆大好評セミナーが通信教育講座として開講いたしました！

10月開講 通信講座

化粧品の回収・クレームを 生じさせない安定性試験の進め方

【講座番号】： ce241003

【開講日】： 2024年10月17日(木)

ce241003 通信 R&D 検索

【受講料】：【会員登録なし】1名につき:55,000円(税込)、2名同時申込み:99,000円、3名同時申込み:132,000円

【会員登録あり】1名につき:44,000円(税込)、2名同時申込み:55,000円、3名同時申込み:66,000円、4名以降はお問い合わせ下さい。

指導講師： 国内化粧品企業 商品開発 課長 杉原としひこ 氏

【本講座の趣旨】

化粧品の商品開発、評価試験を担当しています。

近年化粧品の需要は国内・海外を含めて増えています。

回収・クレームを生じさせない商品開発をするには効率的な設計・安定性試験が必要です。

そこで、わかりやすく経時変化の基礎(容器との相性など)、化学反応、分析化学(規格設定、品質保証の考え方など)、におい、色の変化、析出・再結晶、発汗、分離についてトラブル事例、計算化学による安定性の予測を紹介しながら説明していきます。

1講：『化粧品 経時変化・分析化学の基礎』

【趣旨】

経時変化の種類。化学反応の原理および傾向、反応速度論、アレニウス式から原料の選択から評価方法について説明する。

品質保証において重要な規格設定および管理方法の該当について説明し、演習問題ではクレーム事例や加速安定性の計算方法について学ぶ。

0. 緒言

1. 経時変化

- 1-1. 化学的变化 1-2. 物理的变化
- 1-3. 生物的变化

2. 化学反応

- 2-1. アセタール生成の反応性
- 2-2. アセタール生成の反応機構
- 2-3. 反応因子(求電子剤 求核剤)
- 2-4. 反応速度論 2-5. アレニウス式

3. 分析・管理

- 3-1. 基剤の安定性
- 3-2. 保存安定性試験条件
- 3-3. 測定機器 3-4. 測定上注意点
- 3-5. 数値の妥当性 3-6. 規格設定
- 3-7. 上流管理
- 3-8. 単体安定性情報管理
- 3-9. 成分データベース、活用例

【演習問題】

2講：『安定性による商品の回収、 クレームトラブル回避の方法』

【趣旨】

経時変化でクレーム繋がるような現象「におい、色、析出・再結晶、発汗、分離」の基本理原則について説明する。

実際のクレーム事例および対処法について演習問題にて対策について学ぶ。

1. においの変化

- 1-1. においのしくみ
- 1-2. においの種類と官能基
- 1-3. 悪臭 1-4. 処方上の注意

2. 色の変化

- 2-1. 色のしくみ 2-2. 顔料と染料
- 2-3. 有機物質の色 2-4. 無機物質の色
- 2-5. 処方上の注意

3. 析出、再結晶

- 3-1. 固体とは 3-2. 再結晶のしくみ
- 3-3. 処方上の注意

4. 発汗

- 4-1. 発汗のしくみ 4-2. 処方上の注意

5. 分離

- 5-1. エマルジョンの崩壊
※乳化の基礎説明、最新技術乳化法紹介
- 5-2. クリーミング 5-3. 凝集
- 5-4. 吸着 5-5. 合一
- 5-6. オスワルド熟成 5-7. 処方上の注意

【演習問題】

3講：「計算化学による安定性の予測」

【趣旨】

有機概念図により成分単体の傾向・性質について学び、界面活性剤・あぶらについて解析し乳化安定性(最適な乳化方法)について説明する。

演習問題では用語、使用感への影響L・水への溶けやすさを示すHLBなどの計算例について学ぶ。

1. 計算化学による安定性の予測

- 1-1. 有機概念図
- 1-2. 界面活性剤
- 1-3. あぶら
- 1-4. 計算化学による乳化予測

【演習問題】

通信教育講座 申込書【□にチェックをお願いします】 FAX : 03-5857-4812

テーマ名	<input type="checkbox"/> 化粧品安定性試験		
会社・大学	住所	〒	電話番号
氏名①	所属		E-Mail
氏名②	所属		E-Mail
氏名③	所属		E-Mail
会員登録(無料) ※複数選択可	<input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> 郵送	●会員登録について● すでにご登録済みの方も再度ご選択ください。会員登録をしていただくと、セミナー聴講料の割引などを適用いたします。 なお、一部のセミナーに適用される特典「2名同時申込で2人目無料」に関しては、両名の登録が必須です。	